

問19. 歯科技工物を発注するにあたり、何か指示を出していますか

		サンプル数	海外へ発注することを指示している	取引先の歯科技工所に任せてある	歯科技工所ではない仲介人に依頼している	その他	無回答
* 全体		150	18	108	16	7	1
年齢	～40歳未満	16	3	12	-	1	-
	～50歳未満	46	5	33	6	2	-
	～60歳未満	55	7	40	5	2	1
	～70歳未満	29	3	20	4	2	-
	70歳以上	4	-	3	1	-	-
来院患者数	～10人未満	4	2	2	-	-	-
	～20人未満	24	5	16	3	-	-
	～30人未満	53	4	43	3	2	1
	～50人未満	52	5	37	7	3	-
	50人以上	16	2	9	3	2	-
常勤医師数	一人	107	15	80	8	3	1
	二人	33	3	19	8	3	-
	三人以上	10	-	9	-	1	-
歯師	技工士・いない	122	13	89	14	5	1
	技工士・いる	25	5	17	2	1	-
* 全体		150	12.0	72.0	10.7	4.7	0.7
年齢	～40歳未満	16	18.8	75.0	-	6.3	-
	～50歳未満	46	10.9	71.7	13.0	4.3	-
	～60歳未満	55	12.7	72.7	9.1	3.6	1.8
	～70歳未満	29	10.3	69.0	13.8	6.9	-
	70歳以上	4	-	75.0	25.0	-	-
来院患者数	～10人未満	4	50.0	50.0	-	-	-
	～20人未満	24	20.8	66.7	12.5	-	-
	～30人未満	53	7.5	81.1	5.7	3.8	1.9
	～50人未満	52	9.6	71.2	13.5	5.8	-
	50人以上	16	12.5	56.3	18.8	12.5	-
常勤医師数	一人	107	14.0	74.8	7.5	2.8	0.9
	二人	33	9.1	57.6	24.2	9.1	-
	三人以上	10	-	90.0	-	10.0	-
歯師	技工士・いない	122	10.7	73.0	11.5	4.1	0.8
	技工士・いる	25	20.0	68.0	8.0	4.0	-

問20. 歯科技工指示書に製作された場所について記載されていますか

		サンプル数	記載されている	記載されていない	無回答
* 全体		150	50	98	2
年齢	～40歳未満	16	7	7	2
	～50歳未満	46	13	33	-
	～60歳未満	55	16	39	-
	～70歳未満	29	12	17	-
	70歳以上	4	2	2	-
来院患者数	～10人未満	4	3	1	-
	～20人未満	24	11	13	-
	～30人未満	53	15	38	-
	～50人未満	52	14	38	-
	50人以上	16	6	8	2
常勤医師数	一人	107	39	68	-
	二人	33	8	25	-
	三人以上	10	3	5	2
技工士:いない		122	41	81	-
技工士:いる		25	9	14	2
* 全体		150	33.3	65.3	1.3
年齢	～40歳未満	16	43.8	43.8	12.5
	～50歳未満	46	28.3	71.7	-
	～60歳未満	55	29.1	70.9	-
	～70歳未満	29	41.4	58.6	-
	70歳以上	4	50.0	50.0	-
来院患者数	～10人未満	4	75.0	25.0	-
	～20人未満	24	45.8	54.2	-
	～30人未満	53	28.3	71.7	-
	～50人未満	52	26.9	73.1	-
	50人以上	16	37.5	50.0	12.5
常勤医師数	一人	107	36.4	63.6	-
	二人	33	24.2	75.8	-
	三人以上	10	30.0	50.0	20.0
技工士:いない		122	33.6	66.4	-
技工士:いる		25	36.0	56.0	8.0

問21 海外に建築物を売込している理由(複数回答)

	サンプル数	精度が上 リ	値段が安 い	安全性が 高い	国内で件 成する建 物の種類 が多い	売込から 保険期間 が長い	対費用効 率が低い	取引先の 建仕様の 詳細が わかる	顧客から の要望が ある	その他	集計数	
												150
* 全体	150	15	35	2	69	1	3	7	37	6	21	5
年 齢												
～40歳未満	16	3	3	-	7	-	-	-	2	2	2	1
～50歳未満	46	2	9	-	18	-	1	2	17	1	11	1
～60歳未満	55	3	13	-	22	-	-	2	15	2	6	2
～70歳未満	29	7	9	2	19	1	1	1	3	1	2	1
70歳以上	4	-	1	-	3	-	1	-	1	1	-	-
来 院 者												
～10人未満	4	-	1	-	1	-	1	1	-	1	2	-
～20人未満	24	1	5	-	9	-	1	5	3	3	4	1
～30人未満	53	7	16	-	28	1	2	3	8	7	7	2
～50人未満	52	2	7	-	23	-	-	2	18	-	6	2
50人以上	16	4	6	2	8	-	1	6	6	2	2	-
常 勤 員												
一人	107	9	26	-	50	1	3	6	23	4	16	4
二人	33	4	8	1	14	-	-	9	9	1	4	1
三人以上	10	2	1	1	5	-	1	5	1	1	1	-
業 務 員												
役員	122	10	27	2	56	1	3	5	28	5	20	5
技士・技師	25	5	7	-	13	-	2	7	1	1	1	-
* 全体	150	10.0	23.3	1.3	46.0	0.7	2.0	4.7	24.7	4.0	14.0	3.3
年 齢												
～40歳未満	16	18.8	18.8	-	43.8	-	-	12.5	12.5	6.3	12.5	6.3
～50歳未満	46	6.5	19.6	-	39.1	-	2.2	4.3	37.0	2.2	23.9	2.2
～60歳未満	55	3.6	23.6	-	40.0	-	-	3.6	27.3	3.6	10.9	3.6
～70歳未満	29	24.1	31.0	6.9	65.5	3.4	3.4	10.3	3.4	6.9	3.4	3.4
70歳以上	4	-	25.0	-	75.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-
来 院 者												
～10人未満	4	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	25.0	-	50.0	-
～20人未満	24	4.2	20.8	-	37.5	-	4.2	-	20.8	12.5	16.7	4.2
～30人未満	53	13.2	30.2	-	52.8	1.9	3.8	5.7	15.1	-	13.2	3.8
～50人未満	52	3.8	13.5	-	44.2	-	3.8	34.6	-	-	11.5	3.8
50人以上	16	25.0	37.5	12.5	50.0	-	6.3	37.5	12.5	12.5	12.5	3.7
常 勤 員												
一人	107	8.4	24.3	-	46.7	0.9	2.8	5.6	21.5	3.7	15.0	3.7
二人	33	12.1	24.2	3.0	42.4	-	-	27.3	3.0	12.1	3.0	3.0
三人以上	10	20.0	10.0	10.0	50.0	-	10.0	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0
業 務 員												
役員	122	8.2	22.1	1.6	45.9	0.8	2.5	4.1	23.0	4.1	16.4	4.1
技士・技師	25	20.0	28.0	-	52.0	-	8.0	28.0	4.0	4.0	4.0	4.1

問22.海外に発注した補綴物について、問題が生じたことがありますか

	サンプル数	ある	ない	無回答	
* 全体	150	26	121	3	
年齢	～40歳未満	16	5	11	-
	～50歳未満	46	12	32	2
	～60歳未満	55	3	52	-
	～70歳未満	29	5	23	1
	70歳以上	4	1	3	-
来院患者数	～10人未満	4	1	3	-
	～20人未満	24	1	23	-
	～30人未満	53	13	39	1
	～50人未満	52	7	44	1
	50人以上	16	3	12	1
常勤医師数	一人	107	18	87	2
	二人	33	4	28	1
	三人以上	10	4	6	-
	技工士-いない	122	20	99	3
	技工士-いる	25	6	19	-
* 全体	150	17.3	80.7	2.0	
年齢	～40歳未満	16	31.3	68.8	-
	～50歳未満	46	26.1	69.6	4.3
	～60歳未満	55	5.5	94.5	-
	～70歳未満	29	17.2	79.3	3.4
	70歳以上	4	25.0	75.0	-
来院患者数	～10人未満	4	25.0	75.0	-
	～20人未満	24	4.2	95.8	-
	～30人未満	53	24.5	73.6	1.9
	～50人未満	52	13.5	84.6	1.9
	50人以上	16	18.8	75.0	6.3
常勤医師数	一人	107	16.8	81.3	1.9
	二人	33	12.1	84.8	3.0
	三人以上	10	40.0	60.0	-
	技工士-いない	122	16.4	81.1	2.5
	技工士-いる	25	24.0	76.0	-

問22-① 輸送時の被損

		サンプル 数	度々ある	ほとんど ない	なし	無回答
* 全体		26	3	2	14	7
年 齢	～40歳未満	5	1	-	4	-
	～50歳未満	12	1	1	7	3
	～60歳未満	3	-	-	1	2
	～70歳未満	5	1	1	1	2
	70歳以上	1	-	-	1	-
采 院 生 者 数	～10人未満	1	-	-	-	1
	～20人未満	1	-	-	1	-
	～30人未満	13	1	-	8	4
	～50人未満	7	1	2	2	2
	50人以上	3	1	-	2	-
常 勤 医 歯 師	一人	18	1	-	10	7
	二人	4	1	1	2	-
	三人以上	4	1	1	2	-
	技士+いない	20	1	1	11	7
	技士+いる	6	2	1	3	-
* 全体		26	11.5	7.7	53.8	26.9
年 齢	～40歳未満	5	20.0	-	80.0	-
	～50歳未満	12	8.3	8.3	58.3	25.0
	～60歳未満	3	-	-	33.3	66.7
	～70歳未満	5	20.0	20.0	20.0	40.0
	70歳以上	1	-	-	100.0	-
采 院 生 者 数	～10人未満	1	-	-	-	100.0
	～20人未満	1	-	-	100.0	-
	～30人未満	13	7.7	-	61.5	30.8
	～50人未満	7	14.3	28.6	28.6	28.6
	50人以上	3	33.3	-	66.7	-
常 勤 医 歯 師	一人	18	5.6	-	55.6	38.9
	二人	4	25.0	25.0	50.0	-
	三人以上	4	25.0	25.0	50.0	-
	技士+いない	20	5.0	5.0	55.0	35.0
	技士+いる	6	33.3	16.7	50.0	-

問22-② 設計・デザインの不良

	サンプル数	度々ある	ほとんどない	なし	無回答
* 全体	26	8	5	7	6
年齢					
～40歳未満	5	1	2	2	-
～50歳未満	12	4	1	4	3
～60歳未満	3	1	1	-	1
～70歳未満	5	2	-	1	2
70歳以上	1	-	1	-	-
来院患者数					
～10人未満	1	-	-	-	1
～20人未満	1	-	-	1	-
～30人未満	13	4	3	3	3
～50人未満	7	2	1	2	2
50人以上	3	2	1	-	-
常勤医師数					
一人	18	4	3	5	6
二人	4	3	1	-	-
三人以上	4	1	1	2	-
技工士					
いない	20	6	4	4	6
いる	6	2	1	3	-
* 全体	26	30.8	19.2	26.9	23.1
年齢					
～40歳未満	5	20.0	40.0	40.0	-
～50歳未満	12	33.3	8.3	33.3	25.0
～60歳未満	3	33.3	33.3	-	33.3
～70歳未満	5	40.0	-	20.0	40.0
70歳以上	1	-	100.0	-	-
来院患者数					
～10人未満	1	-	-	-	100.0
～20人未満	1	-	-	100.0	-
～30人未満	13	30.8	23.1	23.1	23.1
～50人未満	7	28.6	14.3	28.6	28.6
50人以上	3	66.7	33.3	-	-
常勤医師数					
一人	18	22.2	16.7	27.8	33.3
二人	4	75.0	25.0	-	-
三人以上	4	25.0	25.0	50.0	-
技工士					
いない	20	30.0	20.0	20.0	30.0
いる	6	33.3	16.7	50.0	-

問22-③ 適合不良

		サンプル 数	度々ある	ほとんど ない	なし	無回答
* 全体		26	13	7	4	2
年 齢	～40歳未満	5	1	2	2	-
	～50歳未満	12	7	2	2	1
	～60歳未満	3	2	1	-	-
	～70歳未満	5	3	1	-	1
	70歳以上	1	-	1	-	-
来 院 患 者 数	～10人未満	1	-	-	-	1
	～20人未満	1	-	-	1	-
	～30人未満	13	7	4	1	1
	～50人未満	7	4	2	1	-
	50人以上	3	2	1	-	-
常 勤医 歯師	一人	18	9	5	2	2
	二人	4	3	-	1	-
	三人以上	4	1	2	1	-
	技工士いない	20	10	5	3	2
	技工士いる	6	3	2	1	-
* 全体		26	50.0	26.9	15.4	7.7
年 齢	～40歳未満	5	20.0	40.0	40.0	-
	～50歳未満	12	58.3	16.7	16.7	8.3
	～60歳未満	3	66.7	33.3	-	-
	～70歳未満	5	60.0	20.0	-	20.0
	70歳以上	1	-	100.0	-	-
来 院 患 者 数	～10人未満	1	-	-	-	100.0
	～20人未満	1	-	-	100.0	-
	～30人未満	13	53.8	30.8	7.7	7.7
	～50人未満	7	57.1	28.6	14.3	-
	50人以上	3	66.7	33.3	-	-
常 勤医 歯師	一人	18	50.0	27.8	11.1	11.1
	二人	4	75.0	-	25.0	-
	三人以上	4	25.0	50.0	25.0	-
	技工士いない	20	50.0	25.0	15.0	10.0
	技工士いる	6	50.0	33.3	16.7	-

問22-④ 指示した材料との相違

	サンプル数	度々ある	ほとんどない	なし	無回答
* 全体	26	4	-	15	7
年齢					
～40歳未満	5	1	-	4	-
～50歳未満	12	3	-	6	3
～60歳未満	3	-	-	1	2
～70歳未満	5	-	-	3	2
70歳以上	1	-	-	1	-
来院患者数					
～10人未満	1	-	-	-	1
～20人未満	1	-	-	1	-
～30人未満	13	-	-	9	4
～50人未満	7	2	-	3	2
50人以上	3	2	-	1	-
常勤医師					
一人	18	-	-	11	7
二人	4	3	-	1	-
三人以上	4	1	-	3	-
技師					
技工士・いない	20	2	-	11	7
技工士・いる	6	2	-	4	-
* 全体	26	15.4	-	57.7	26.9
年齢					
～40歳未満	5	20.0	-	80.0	-
～50歳未満	12	25.0	-	50.0	25.0
～60歳未満	3	-	-	33.3	66.7
～70歳未満	5	-	-	60.0	40.0
70歳以上	1	-	-	100.0	-
来院患者数					
～10人未満	1	-	-	-	100.0
～20人未満	1	-	-	100.0	-
～30人未満	13	-	-	69.2	30.8
～50人未満	7	28.6	-	42.9	28.6
50人以上	3	66.7	-	33.3	-
常勤医師					
一人	18	-	-	61.1	38.9
二人	4	75.0	-	25.0	-
三人以上	4	25.0	-	75.0	-
技師					
技工士・いない	20	10.0	-	55.0	35.0
技工士・いる	6	33.3	-	66.7	-

問22-⑤ 患者さんとのトラブル

		サンプル 数	度々ある	ほとんど ない	なし	無回答
#	全体	26	4	4	11	7
年 齢	～40歳未満	5	2	-	3	-
	～50歳未満	12	2	2	5	3
	～60歳未満	3	-	-	1	2
	～70歳未満	5	-	2	1	2
	70歳以上	1	-	-	1	-
来 院 患 者 数	～10人未満	1	-	-	-	1
	～20人未満	1	-	-	1	-
	～30人未満	13	2	1	6	4
	～50人未満	7	1	3	1	2
	50人以上	3	1	-	2	-
常 勤 医 歯 師	一人	18	2	2	7	7
	二人	4	1	1	2	-
	三人以上	4	1	1	2	-
	技工士-いない	20	1	2	10	7
	技工士-いる	6	3	2	1	-
#	全体	26	15.4	15.4	42.3	26.9
年 齢	～40歳未満	5	40.0	-	60.0	-
	～50歳未満	12	16.7	16.7	41.7	25.0
	～60歳未満	3	-	-	33.3	66.7
	～70歳未満	5	-	40.0	20.0	40.0
	70歳以上	1	-	-	100.0	-
来 院 患 者 数	～10人未満	1	-	-	-	100.0
	～20人未満	1	-	-	100.0	-
	～30人未満	13	15.4	7.7	46.2	30.8
	～50人未満	7	14.3	42.9	14.3	28.6
	50人以上	3	33.3	-	66.7	-
常 勤 医 歯 師	一人	18	11.1	11.1	38.9	38.9
	二人	4	25.0	25.0	50.0	-
	三人以上	4	25.0	25.0	50.0	-
	技工士-いない	20	5.0	10.0	50.0	35.0
	技工士-いる	6	50.0	33.3	16.7	-

問22-④ 装着後の破損・修理

		サンプル 数	度々ある	ほとんど ない	なし	無回答
#	全体	26	9	5	8	4
年 齢	～40歳未満	5	1	2	2	-
	～50歳未満	12	4	3	4	1
	～60歳未満	3	2	-	-	1
	～70歳未満	5	2	-	1	2
	70歳以上	1	-	-	1	-
来 院 患 者 数	～10人未満	1	-	-	-	1
	～20人未満	1	-	1	-	-
	～30人未満	13	4	3	4	2
	～50人未満	7	4	-	2	1
	50人以上	3	1	-	2	-
常 勤医 講師	一人	18	6	4	4	4
	二人	4	2	-	2	-
	三人以上	4	1	1	2	-
	技工士・いない	20	6	5	5	4
	技工士・いる	6	3	-	3	-
#	全体	26	34.6	19.2	30.8	15.4
年 齢	～40歳未満	5	20.0	40.0	40.0	-
	～50歳未満	12	33.3	25.0	33.3	8.3
	～60歳未満	3	66.7	-	-	33.3
	～70歳未満	5	40.0	-	20.0	40.0
	70歳以上	1	-	-	100.0	-
来 院 患 者 数	～10人未満	1	-	-	-	100.0
	～20人未満	1	-	100.0	-	-
	～30人未満	13	30.8	23.1	30.8	15.4
	～50人未満	7	57.1	-	28.6	14.3
	50人以上	3	33.3	-	66.7	-
常 勤医 講師	一人	18	33.3	22.2	22.2	22.2
	二人	4	50.0	-	50.0	-
	三人以上	4	25.0	25.0	50.0	-
	技工士・いない	20	30.0	25.0	25.0	20.0
	技工士・いる	6	50.0	-	50.0	-

問22-⑦ 金額に関するトラブル

	サンプル数	度々ある	ほとんどない	なし	無回答
* 全体	26	1	1	17	7
年齢					
～40歳未満	5	1	-	4	-
～50歳未満	12	-	1	8	3
～60歳未満	3	-	-	1	2
～70歳未満	5	-	-	3	2
70歳以上	1	-	-	1	-
来院患者数					
～10人未満	1	-	-	-	1
～20人未満	1	-	-	1	-
～30人未満	13	-	-	9	4
～50人未満	7	1	1	3	2
50人以上	3	-	-	3	-
常勤医師					
一人	18	-	1	10	7
二人	4	1	-	3	-
三人以上	4	-	-	4	-
技師					
技師いない	20	-	-	13	7
技師いる	6	1	1	4	-
* 全体	26	3.8	3.8	65.4	26.9
年齢					
～40歳未満	5	20.0	-	80.0	-
～50歳未満	12	-	8.3	66.7	25.0
～60歳未満	3	-	-	33.3	66.7
～70歳未満	5	-	-	60.0	40.0
70歳以上	1	-	-	100.0	-
来院患者数					
～10人未満	1	-	-	-	100.0
～20人未満	1	-	-	100.0	-
～30人未満	13	-	-	69.2	30.8
～50人未満	7	14.3	14.3	42.9	28.6
50人以上	3	-	-	100.0	-
常勤医師					
一人	18	-	5.6	55.6	38.9
二人	4	25.0	-	75.0	-
三人以上	4	-	-	100.0	-
技師					
技師いない	20	-	-	65.0	35.0
技師いる	6	16.7	16.7	66.7	-

問22-⑧ 納期が遅れた

	サンプル数	度々ある	ほとんではない	なし	無回答	
* 全体	26	3	5	12	6	
年齢	～40歳未満	5	1	-	4	-
	～50歳未満	12	1	3	5	3
	～60歳未満	3	1	1	-	1
	～70歳未満	5	-	1	2	2
	70歳以上	1	-	-	1	-
来院患者数	～10人未満	1	-	-	-	1
	～20人未満	1	-	-	1	-
	～30人未満	13	1	3	6	3
	～50人未満	7	1	2	2	2
	50人以上	3	1	-	2	-
常勤医師	一人	18	1	3	8	6
	二人	4	1	2	1	-
	三人以上	4	1	-	3	-
	技士士いない	20	1	4	9	6
	技士士いる	6	2	1	3	-
* 全体	26	11.5	19.2	46.2	23.1	
年齢	～40歳未満	5	20.0	-	80.0	-
	～50歳未満	12	8.3	25.0	41.7	25.0
	～60歳未満	3	33.3	33.3	-	33.3
	～70歳未満	5	-	20.0	40.0	40.0
	70歳以上	1	-	-	100.0	-
来院患者数	～10人未満	1	-	-	-	100.0
	～20人未満	1	-	-	100.0	-
	～30人未満	13	7.7	23.1	46.2	23.1
	～50人未満	7	14.3	28.6	28.6	28.6
	50人以上	3	33.3	-	66.7	-
常勤医師	一人	18	5.6	16.7	44.4	33.3
	二人	4	25.0	50.0	25.0	-
	三人以上	4	25.0	-	75.0	-
	技士士いない	20	5.0	20.0	45.0	30.0
	技士士いる	6	33.3	16.7	50.0	-

問23.海外で作成した補綴物について、患者さんに対して説明していますか

		サンプル数	説明している	説明していない	無回答
* 全体		150	104	44	2
年齢	～40歳未満	16	14	2	-
	～50歳未満	46	33	12	1
	～60歳未満	55	35	20	-
	～70歳未満	29	18	10	1
	70歳以上	4	4	-	-
来院患者数	～10人未満	4	4	-	-
	～20人未満	24	18	6	-
	～30人未満	53	34	18	1
	～50人未満	52	36	15	1
	50人以上	16	11	5	-
常勤医師	一人	107	75	30	2
	二人	33	22	11	-
	三人以上	10	7	3	-
	技工士-いない	122	86	34	2
	技工士-いる	25	16	9	-
* 全体		150	69.3	29.3	1.3
年齢	～40歳未満	16	87.5	12.5	-
	～50歳未満	46	71.7	26.1	2.2
	～60歳未満	55	63.6	36.4	-
	～70歳未満	29	62.1	34.5	3.4
	70歳以上	4	100.0	-	-
来院患者数	～10人未満	4	100.0	-	-
	～20人未満	24	75.0	25.0	-
	～30人未満	53	64.2	34.0	1.9
	～50人未満	52	69.2	28.8	1.9
	50人以上	16	68.8	31.3	-
常勤医師	一人	107	70.1	28.0	1.9
	二人	33	66.7	33.3	-
	三人以上	10	70.0	30.0	-
	技工士-いない	122	70.5	27.9	1.6
	技工士-いる	25	64.0	36.0	-

問24.海外で作成した補綴物について満足していますか

	サンプル数	満足	普通	不満	無回答	
* 全体	150	54	81	12	3	
年齢	～40歳未満	16	7	9	-	-
	～50歳未満	46	12	27	5	2
	～60歳未満	55	23	28	4	-
	～70歳未満	29	10	15	3	1
	70歳以上	4	2	2	-	-
来院患者数	～10人未満	4	-	2	2	-
	～20人未満	24	9	15	-	-
	～30人未満	53	18	28	5	2
	～50人未満	52	18	29	4	1
	50人以上	16	8	7	1	-
常勤医師数	一人	107	38	57	9	3
	二人	33	11	20	2	-
	三人以上	10	5	4	1	-
	技士士いない	122	43	68	8	3
	技士士いる	25	11	11	3	-
* 全体	150	36.0	54.0	8.0	2.0	
年齢	～40歳未満	16	43.8	56.3	-	-
	～50歳未満	46	26.1	58.7	10.9	4.3
	～60歳未満	55	41.8	50.9	7.3	-
	～70歳未満	29	34.5	51.7	10.3	3.4
	70歳以上	4	50.0	50.0	-	-
来院患者数	～10人未満	4	-	50.0	50.0	-
	～20人未満	24	37.5	62.5	-	-
	～30人未満	53	34.0	52.8	9.4	3.8
	～50人未満	52	34.6	55.8	7.7	1.9
	50人以上	16	50.0	43.8	6.3	-
常勤医師数	一人	107	35.5	53.3	8.4	2.8
	二人	33	33.3	60.6	6.1	-
	三人以上	10	50.0	40.0	10.0	-
	技士士いない	122	35.2	55.7	6.6	2.5
	技士士いる	25	44.0	44.0	12.0	-

問25. 今後も補綴物を海外に発注しますか

		サンプル 数	発注する	発注しな い	不明であ る	無回答
* 全体		150	42	53	53	2
年 齢	～40歳未満	16	7	4	5	-
	～50歳未満	46	10	12	23	1
	～60歳未満	55	14	22	19	-
	～70歳未満	29	9	13	6	1
	70歳以上	4	2	2	-	-
来 院 患 者 数	～10人未満	4	1	2	1	-
	～20人未満	24	6	7	11	-
	～30人未満	53	15	22	14	2
	～50人未満	52	12	19	21	-
	50人以上	16	7	3	6	-
常 勤医 歯師	一人	107	27	40	38	2
	二人	33	11	11	11	-
	三人以上	10	4	2	4	-
	技工士・いない	122	31	45	44	2
	技工士・いる	25	11	7	7	-
* 全体		150	28.0	35.3	35.3	1.3
年 齢	～40歳未満	16	43.8	25.0	31.3	-
	～50歳未満	46	21.7	26.1	50.0	2.2
	～60歳未満	55	25.5	40.0	34.5	-
	～70歳未満	29	31.0	44.8	20.7	3.4
	70歳以上	4	50.0	50.0	-	-
来 院 患 者 数	～10人未満	4	25.0	50.0	25.0	-
	～20人未満	24	25.0	29.2	45.8	-
	～30人未満	53	28.3	41.5	26.4	3.8
	～50人未満	52	23.1	36.5	40.4	-
	50人以上	16	43.8	18.8	37.5	-
常 勤医 歯師	一人	107	25.2	37.4	35.5	1.9
	二人	33	33.3	33.3	33.3	-
	三人以上	10	40.0	20.0	40.0	-
	技工士・いない	122	25.4	36.9	36.1	1.6
	技工士・いる	25	44.0	28.0	28.0	-

II. 厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
（分担）研究報告書

1. 歯科補綴物の多国間の流通経路に関する海外調査研究

分担研究者 阿部 智 神奈川歯科大学助教

1. 概要

2000年以降、海外委託を中心とした歯科補綴物の国際流通が全世界的な主流となりつつある。その背景には、グローバル化の進展による流通網の発達、IT化による発注などの情報処理の発展などの環境面の変化だけでなく、国内で作成できない歯科補綴物の委託や社会保障費への対応として歯科補綴物の海外委託が期待されていることもある。また、技術面では海外市場の求めるレベルまで著しく成長している。特に急速に台頭してきた中国は歯科技工を単なる労働集約的な産業と最先端のハイテク産業との中間的に位置付け、台湾・香港の華僑系資本歯科技工所だけでなく、欧米歯科系メーカー主導で歯科技工を主に欧米を市場とした輸出産業として育成してきた。

これら中国の輸出型大規模歯科技工所が急激に増加したことから中国当局は歯科技工所の開設管理基準を上げ、生産管理による品質管理をより厳しくしている。国際市場に対応するため、ISOなどの国際基準だけでなく、CEマーキング、TÜVなど各市場の品質基準を取得し、安全管理をおこなっている。品質管理体制では、主な輸出型大規模歯科補綴物は各市場の歯科技工士を専属の品質管理者として常駐させている。その結果、技術・品質・金額の総合的な優位性によって、歯科補綴物の一大生産拠点としての国際的な地位を築き上げた。

歯科補綴物の海外委託が世界的な潮流となる中で、日本には、世界的にまれな歯科技工士の免許制度があることや、海外で作製された歯科補綴物の取扱に関するいわゆる「平成17年通知」が抑止力となり、歯科補綴物の海外委託は拡大していないようである。この「平成17年通知」は、国内で作製された歯科補綴物は対象外であり、臨床現場での患者に与える心理的影響は大きい。今後も日本では歯科補綴物の海外委託市場の急速な拡大はないと考えられる。一方で、一部に歯科補綴物の海外委託への需要もあることから、受け入れる際の環境整備が必要である。

歯科補綴物の海外委託については、欧米で歯科補綴物の海外委託が受け入れられた背景と理由を考慮し、安全・安心な医療を国民が享受できるよう国内産業との互惠関係の構築が望まれる。

2. 海外インタビュー調査報告

A. 歯科補綴物の国際流通の沿革と現状、その背景

a. 歯科補綴物の海外委託の世界的潮流

歯科補綴物の海外委託は民間保険主導の歯科医療が展開されるアメリカが人件費の内外価格差に注目し、近隣のメキシコ・南米・中南米との関係を深めたことから始まったとされる。そこにグローバリゼーションによる国際流通網の発達によって発注先がアジア諸国まで広がったことから、台湾・タイ、そして英語でコミュニケーションがとれるフィリピン・シンガポール・香港へと拡大していった。技術面で最終的にシンガポール・香港・台湾が残ったが、これらの国々は自国の人件費の高騰から金銭面での魅力を示すことが難しくなった。そこで香港・台湾がより安い労働力を求めて中国大陸に進出するようになった。中国大陸における香港・台湾資本の優位性は地理的な近接性と華僑としての同一民族であることとであり、その他の製造業と同じように改革開放の経済特区である深圳（シンセン）に歯科技工所を開設していった。このような変遷をたどり、中国は歯科補綴物の世界的な一大供給基地としての地位を築き上げた。

b. 海外委託市場の開拓と国際流通網の確立

中国の輸出型大規模歯科技工所は基本的に歯科補綴物の作製に特化している。製造業者である歯科技工所が市場開拓するには大変な労力が必要となり、本業である歯科技工に資本を集中させるために、製造分野への「選択と集中」が行われる。アメリカの場合、営業代理店等の開拓に大きな

役割を果たしているのが在米華僑ネットワークである。この華僑ネットワークと関係の深い香港・台湾資本歯科技工所が自国の市場が小さいが故に、より大きな市場を求めて北米市場を開拓していった経緯があった。

歯科技工学校留学ネットワークも歯科補綴物の国際流通の一翼を担っている。特に日本における海外委託歯科補綴物の流通の主流はこの日本留学ネットワークにある。台湾や中国本土から日本の歯科技工士養成施設に留学した人材が日本留学中に習得した日本語能力と歯科人脈を活用して日本市場を開拓している。彼らは、日本の歯科技工士免許取得者として、歯科補綴物のグローバルサプライチェーンを担う人材として期待される。日本と同じように留学ネットワークが国際流通媒体の主流となっているのがドイツである。ドイツにはトルコ移民が多く、歯科技工業界にトルコ移民がネットワークを形成し、トルコに開設した歯科技工所からドイツに歯科補綴物を輸出するようになっている。

歯科補綴物海外委託黎明期は華僑ネットワーク、留学ネットワークが国際流通網の主流であったが、海外委託が市民権を得るようになってからは中国の歯科技工所と海外歯科医院・歯科補綴物取次業者との直接取引が増えている。この国境を越えた商取引の媒体がインターネットと国際展示会（デンタルショー）による市場開拓である。中国のデンタルショーでは海外からの顧客を呼び寄せ、歯科技工を輸出産業とすべく産官学が一体となったプロモーションを展開している。この動きに呼応してドイツ政府は中国のデンタルショーに出展するドイツ企業に対し助成を行い、歯科材料販売を含めた、あらゆる歯科産業を支援している。その結果、中国の輸出型大

型歯科技工所で使用される歯科材料はBEGO社のようなドイツ製で多く占められている。また、世界規模の歯科商取引には必ず中国の輸出型大規模歯科技工所や取次業者が出展し、海外顧客の開拓をしている。

一方で、日本の多くのデンタルショーは、日本歯科商工会などが主催するため、非会員の日本の歯科技工所でも独自のブースは出展できず、卸業者のブースを間借りして出展している。ましてや外国の歯科技工所が出展できる状況にない。欧米諸国で主流となりつつある歯科補綴物の海外委託が日本市場で広まらないのは諸般の理由があるが、その一つに日本の歯科市場の特殊性が挙げられる。

c. 日本における歯科補綴物の海外委託の歴史

日本での歯科技工物の海外委託は、1980年代後半台湾の在日華僑ネットワーク等から始まり、日本人歯科技工士の仲介によりフィリピン、シンガポール、タイにまで広がっていたようであるが、これらの地域では技術の向上が望めず、1990年代には委託先の対象とはなっていない。その後、2004年頃から当時国内では材料が薬事法未認可であるため作製できなかった弾性床義歯の作製を海外委託する事例が増加し、次第に複数の歯科技工所を経由した取引に広がっていった。日本国内の歯科技工所で作製できない一方で患者や歯科医師からの需要により取引が増加した。

このような状況から海外委託歯科補綴物の取扱いについて厚生労働省は2005年9月に「国外で作成された補てつ物等の取扱いについて」(平成17年9月8日付厚生労働省医政局歯科保健課長通知) <いわゆる平成17年通知>を公表した。この通知後に歯科補綴物を海外委託取扱業者が

増えたとの認識が一部であるようであるが、必ずしもそのような事実はない。世界的に歯科補綴物の海外委託が急速に拡大する中で、この平成17年通知の抑止効果は十分あったと思われ、海外の歯科技工所からは大きな市場参入障壁として認識されている。歯科補綴物の海外委託が最も進んでいるアメリカでは当局からこのような通知はなく、現在その必要性が議論されている段階であり、日本が歯科補綴物の海外委託に対する政策面での取り組みで先取りしている部分といえる。

B. 歯科補綴物供給国(中国)の歯科技工所の実態

a. 中国の歯科技工所の地域特性

輸出型歯科技工所は香港を中心とする珠江流域の経済地域である珠江デルタ地帯に集積している。珠江デルタ地帯のうち歯科技工所が集積する地域は主に深圳・東莞(トンガン)・珠海(ジュハイ)である。そのうち最も歯科技工所が多い地域が深圳であり、香港・台湾の海外華僑系資本が早くから進出し、概して大規模歯科技工所が多い。最近では200-300名程度の中小規模の大陸系の歯科技工所も増えている。また、ドイツ人歯科技工士が開設する歯科技工所も増えつつあり、2008年には日本人歯科技工士も日本独资で歯科技工所を開設した。東莞・珠海には主に台湾資本の歯科技工所が多い。珠江デルタ地帯の特性として香港を流通起点として世界中から歯科補綴物を受注していることが挙げられ、北米、欧州の海外委託歯科補綴物の大半を生産している歯科補綴物の世界的な供給基地としての地位を確立しつつある。

珠江デルタ地帯に次いで近年、歯科技工所が多く開設されつつあるのが上海周辺の長江デルタ地帯である。珠江デルタ地帯

と異なり規模は中小規模の歯科技工所が多く、世界的には主流ではない。日本とは地理的に近く、多くの発着便があり、ヒトの往来も多いことから日本における歯科補綴物の海外委託の最も多い発注先となっている。浦東国際空港を拠点とした国際流通網があり、国際的知名度の高い経済都市上海を中心に今後、歯科補綴物の発注に関心がよせられることが予想される。

北京・天津・河北省からなる首都経済圏も首都国際空港からの利便性から海外委託を受注する歯科技工所が増えている。首都経済圏も長江デルタ地帯と同様に中小規模の歯科技工所が中心で、地価の高い北京中心部から離れた郊外に開設されている。

珠江デルタ地帯、長江デルタ地帯、首都経済圏の3大経済圏以外の地域では、日本から地理的に近く日本人の往来も多い大連を中心とした遼寧省、吉林大学（旧白恩院医科大学）のある吉林省の旧満洲東北地域も日本人歯科医師、歯科技工士との交流が活発であり、人的交流だけでなく、日本の技術援助による歯科技工所の設立もあるが、歯科技工の技術レベルは高くなく、国際流通に適した国際ハブ空港もないため、輸出型歯科技工所はほとんど存在しない。四川省成都是中国の口腔医学院で最も歴史のある四川大学華西口腔医学院（旧華西医科大学口腔医学院）があるため、古くから口腔関連インフラが整っていることもあり、内陸部という地理的なハンディキャップにも関わらず海外委託を受注する歯科技工所がいくつか存在している。

b. 中国の輸出型歯科技工所の資本関係

中国の輸出型歯科技工所は地元大陸資本よりも外資によるものが主導して海外委託を受注している。地理的な関係から深圳に香港資本の歯科技工所が多い。香港資

本歯科技工所は在米華僑ネットワークを利用し、同族が取次業にも参入するなど様々なルートでアメリカ市場を中心に受注している。家族が営業主体の代理店を設立させる方式は華僑ビジネス特有の一族経営の展開であり、香港資本歯科技工所の特徴である。一方で日本市場には他の資本と比べ弱い傾向にある。2000年前半頃、深圳にある香港系大手輸出型大規模歯科技工所が日本市場に参入したが、現在は撤退している。概して秘密主義が徹底し、歯科技工所に関する情報の入手が困難であるため、安全性の確保など品質管理についても未確認である。

香港資本と同じ中華圏の台湾資本の歯科技工所は深圳だけでなく、深圳に隣接し台湾系製造業が多く進出する東莞やマカオに隣接する珠海にも歯科技工所を開設している。交通の面では、これまで台湾と大陸の兩岸（台湾の解釈では「両国」）の直行便は香港とマカオにしかなかったことが影響している。台湾資本歯科技工所も香港資本と同様に在米華僑を通じたアメリカ市場に通じているが、香港資本と大きく異なる点は台湾系華僑によって日本市場の開拓ができたことである。珠海にあるB社はその代表例で、名古屋に輸入代理店を設立し、日本市場に歯科補綴物を提供する業者となっている。

地元大陸資本の歯科技工所は中国各地に存在するが、正確な数値は把握されていない。技術面と海外市場開拓能力の問題から輸出型は少なく、主に国内市場をターゲットとしたものが多かった。しかし、近年は技術面の成長が著しく海外市場が求めるレベルまで対応できるまでになっている。市場開拓の面でもより安価な製品を求める顧客から積極的にアプローチしてきているため、特別な営業活動をすることなく顧客が増えている。

華僑資本以外では海外歯科技工所、海外メーカー、海外歯科技工の投資による歯科技工所の開設・買収が行われている。日本と同様の歯科技工士の資格制度が整備されているドイツからはマイスター自ら歯科技工所を開設する事例が増えている。日本の場合、以前は技術移転を目的としたボランティアベースの交流であったが、日本への輸出を視野に入れた日本人歯科技工士による歯科技工所が開設されつつある。2008年に深圳に開設されたC社は日本独資で日本人歯科技工士によって設立された初めての歯科技工所であり、現在2名の歯科技工士が品質管理を行い、日本ブランドを期待して中国国内や欧米から受注を増やしている。歯科技工所の開設までではないまでも、歯科技工所の品質管理者として赴任する日本人歯科技工士は北京、上海、珠海などで確認されている。また日本の歯科技工所・医療法人による歯科技工所も1994年に設立にされている。その他、上海周辺の長江デルタ地帯には日本資本もしくは日本に関係のある歯科技工所が存在するといわれる。

c. 中国の輸出型大規模歯科技工所の取引先

アメリカ市場では歯科技工士の免許制度がある州が少なく、古くから歯科技工の産業化が進んでいた土壌があったため、中国への歯科補綴物の海外委託が比較的容易に受け入れられた。アメリカの大規模歯科技工所や個人診療所から歯科補綴物の発注を請け負う営業に特化した会社の多くは中国の輸出型大規模歯科技工所と取引している。また、民間保険会社と直接取引をして、患者の歯科補綴物を制限する例もある。

EU諸国ではドイツとフランスが歯科補綴物の海外委託の先進地となっている。ド

イツでは医療制度改革により健保組合が独自の行動計画を策定することが可能となったことから、医療費削減のために中国の歯科技工所と直接取引を行う健保組合が出てきている。また、“MacZhan”のように海外委託歯科補綴物の提供により格安で歯科治療を行うチェーン展開の歯科医院や“dentaltrade”や“imix”のような歯科補綴物の海外委託を業とする企業も出現している。ドイツに多いトルコ移民ネットワークからトルコへの委託が主流であったが、品質の関係から徐々に中国へ移行しつつある。フランスでは“Pro Dent”のような海外委託を業とする歯科技工所が取引を増やしつつある。また、フランス政府が中国の本土資本の輸出型大規模歯科技工所と直接取引に乗り出していると考えられる。

歯科技工技術が高くなく、歯科技工産業も貧弱な欧米諸国以外の地域では、海外委託のインセンティブが金銭面な理由からではなく、品質・技術と金額の総合的な比較優位により中国へ発注している。

2008年からアメリカを端とする世界的な経済危機の影響については、主な市場である北米、欧州からの受注数減少につながると考えられるが、状況は歯科技工所によって異なる。従業員1000人前後の大型歯科技工所は受注が減少しているが、700人以下の中小規模の歯科技工所では受注が増えている。全体的な歯科補綴物の受注減少がある一方で、今まで海外委託していなかった層まで発注していることが考えられる。しかし、国内市場は急激に受注が減少しているようである。内需が減退しているが、依然として歯科補綴物の外需は旺盛である。

d. 大規模輸出型歯科技工所の内情

経営者の方針にもよるが、外部への歯科